

SDGs の達成に向けた多様な環境研究の 取組みと今後への期待

開催日時：2017年12月8日（金）15：00～17：20（14：45開場）

開催場所：日本大学会館 大講堂 A会場

（東京都千代田区九段南4-8-24（市ヶ谷駅徒歩2分））

1. 趣旨

一昨年に合意されたSDGsの達成に向けた、すべての関係者（ステークホルダー）の努力、連携が求められています。そこで本シンポジウムでは、多様な環境分野の研究者がどのようにSDGsに取り組んできており、今後どのように貢献していくべきか、さらには研究を進める際に多様な分野に求められる連携とはどのようなものかを議論することにより、SDGsへの取り組みを促進します。

2. 日時 2017年12月8日（金）15：00～17：20（14：45開場）

3. 場所 日本大学会館 大講堂 A会場

東京都千代田区九段南4-8-24（市ヶ谷駅徒歩2分）

4. プログラム

【総合司会】

荒井 眞一 氏：環境情報科学センター常務理事（一般社団法人低炭素社会創出促進協会）

1) 開会挨拶

大塚 直 氏：環境情報科学センター理事長（早稲田大学法学部教授）

2) 特別講演 15：05～15：20

森下 哲 氏：環境省地球環境局長

「SDGsの達成に向けての政府の取組みとステークホルダーの役割」

3) 基調講演 15：20～15：50

蟹江 憲史 氏：UNU-IAS シニアリサーチフェロー・慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授

「SDGsの推進とアカデミアへの期待」

4) テーマ別講演 15：50～16：35（各15分）

「気候変動分野」

亀山 康子氏：国立環境研究所社会環境システム研究センター副センター長

「資源・物質循環分野」

谷川 寛樹氏：名古屋大大学院環境学研究科教授

「自然環境保全分野」

藤稿 亜矢子氏：東洋大学国際観光学部准教授

5) パネルディスカッション 16：35～17：20

モデレーター 竹内 恒夫氏：名古屋大学大学院環境学研究科教授

亀山 康子氏：（前掲）

パネラー 蟹江 憲史氏：（前掲）

谷川 寛樹氏：（前掲）

藤稿 亜矢子氏：（前掲）

6) 閉会挨拶

藤田 八暉氏：環境情報科学センター常務理事（久留米大学名誉教授）

※本シンポジウムは、環境情報学術研究論文発表会・ポスターセッションの一環として開催するもので、広く一般の方も対象として無料で公開します。